

## これからの小中学校について意見交換会記録

【令和5年6月22日(木)北部多目的センター】

### 【北部地区に関して】

- ・農地法のため、住宅地が増えていかない。銀行も農協もなくなった。医者は60年前からいない。
- ・北部地域から学校をとると、ますます高齢化が進み地域が疲弊してしまう。学校は子どものためのものといいながらも、地域に大きく貢献していることが現実である。
- ・学校の位置づけがそのくらい地域にとって大きなことであることを認識していただきたい。統廃合ではなくて、地域を盛り上げることに行政は力を注いでほしい。
- ・主役は子どもであり、地域はそれを支える側だと思う。

### 【学校規模に関して】

- ・大規模校が良いという意見がものすごく多いが、小規模校の良さもあるので、小規模校のままでも良いと思う。
- ・今後は、大規模校より小規模校の方が多くなる。小規模校でも、先生たちの頑張り次第で運営することは可能だと思う。
- ・大規模校へ行って、息苦しい思いをするくらいなら小規模校でも良いのではないか。

### 【アンケートに関して】

- ・選択肢にないのに「現状維持」が5%という数値が出ているのは、数値的に多いと思う。
- ・回収率が6割は、低いのではないか。
- ・選択肢の中に、「現状維持」を入れてほしい。
- ・現状維持という項目があれば、5%よりもっと大きな数値が出たんじゃないかなと推測せざるを得ない。
- ・アンケート結果をよく見ると、当事者である子育て世代の人たちは「早急に対応してほしい」という意見が多々書かれていた。
- ・6割といった回収率は、国政アンケートでも聞いたことがくらい高い数値である。ただ、これがベストとも思っていない。

### 【意見交換会に関して】

- ・子育て世代の保護者が、意見交換会に参加されていないことが残念である。私たちが年をとってきたので、これからは孫の世代を主役に考えていかなければならない。
- ・きっと、何年も前から小中学校、幼稚園ではこういった内容で議論がなされているはず。その意見を今日のような場で話していただくと、いろいろな年代層へ広がっていくのではないかと思う。
- ・何回か意見交換会を重ね、アンケート調査を行ってきている以上、ゼロに戻るのはいささかいかかと思う。
- ・1時間という時間は、あまりに短すぎる。5時間も6時間もとは言わないけども、今後の会の持ち方を考えてほしい。
- ・主役は子供ではないか。地域はそれを支えるのではないか。

### 【その他の意見】

- ・各地区の意見を集約して、再度ゼロベースから学校適正化について考えてほしい。
- ・現状が大丈夫なら、そんなに急ぐ話でもない。10年先20年先を考え、地域の人たちと一緒に方向性を詰めていくというやり方が良いと思う。
- ・市長が記者会見で発表したのであれば、今後の窓口は市長部局が務めるべきである。
- ・今後は、市長にも同席してもらって直接方針等を聞きたい。
- ・拙速にことを進めているのは、行財政を圧迫しているから、学校を少なくして、財政を助けようという魂胆があるように思える。
- ・議員の先生方に、もっと頑張って地域に発信していただきたい。

### 【会の中での質問と回答】

#### <質問①>

学校は誰のものか。

#### <回答①>

学校は、子どもたちが学ぶ場であり、子どもたちが力を発揮する場。

#### <質問②>

小規模校が駄目な理由は。

#### <回答②>

現状よりも、さらに子どもの人数が減少してしまうことを憂いている保護者がいる。アンケート結果から、9割の方が現状をどうにかしてほしいと回答している。現状維持と回答している人は、5%ほど。

#### <質問③>

地域を無視したやり方をしていないか。

<回答③>

地域を無視することは決してない。子育て世代の多くの保護者が、どうにかしてほしいという結果が出ている。今後は、授業参観や学校行事等の機会を捉えて、知波田小や東小の保護者へ説明・意見交換をしていきたいと考えている。

<質問④>

アンケートの選択肢に「現状維持」を入れなかった理由は。

<回答④>

3つの案以外に、その他という選択肢を設定した。アンケートの依頼文の中に「3つの案から一つを選ぶことは、決定していないこと」「3つの案に該当しない場合は、その他に意見を記入してほしいこと」を、書かせてもらった。今後の人口減少を踏まえ、アンケートを実施する以上はやはり改善していく、変えていく方向で考えているため。

<質問⑤>

アンケート回答者の保護者と言うと、一般的には男性が多いのではないか。子育てに奮闘している女性の意見は、この中に盛り込まれているのか疑問に思う。

<回答⑤>

学校で利用している連絡ツールは、家庭によってお父さんお母さんの両方が登録されている場合がある。だから、決して父親だけの意見というわけではなく、登録している母親の回答もこの中に入っている。

<質問⑥>

検討委員会の人選と進行状況について伺いたい。

<回答⑥>

北部地区と白須賀地区それぞれに検討委員会を立ち上げようと考えている。具体的なことはこれから決めていくが、そこには当然、地域にお住まいの方もメンバーに入っていただく予定である。

5月に基本方針を出して、秋以降に立ち上げていきたいと考えている。令和5年度、6年度の2ヶ年でまとめていきたいと考えている。

<質問⑦>

2045年に、この北部地区の1歳から14歳の子どもの人数について伺いたい。

<回答⑦>

現状で、100人を切っている。今後はさらに減少していくことが予想される。